

2017年度川崎市ふれあい館事業報告

●職員体制<館長><副館長><常勤職員：コーディネーター型9名・子ども専任4名・会計事務1名><非常勤40名>
 (経営・運営状況)常勤職員については、新旧世代交替の中、わくわく非常勤等の若手職員を公募により、常勤として各部署に配置した。わくわくプラザの非常勤リーダー、及びスタッフは応募が少ない状況にあり、予算も残額が多かった。今後、地域のこ育てが落ち着いた世代等、社会保険対応の「放課後児童支援員」の人材発掘が課題である。

概要 わくわくプラザ事業は、2020年度国の「放課後児童支援員」制度移行の課題があり、常勤職員、非常勤職員リーダー体制を含め、準備をすすめている。また、世代交代に伴い、若手職員を中心に全体の運営会議の深化、合同プログラムの活性化がすすんできた。今後、さらなる発展を展望したい。
 館の子ども事業では、貧困と孤立の生活課題を抱え、支援の必要な児童への寄り添いの実践、また生活が厳しい外国籍のシングルマザー家庭等、多言語による多文化家族支援をすすめてきた。そして、学習支援の取り組みでは、外国につながる子ども、生活保護等、経済的に厳しい子ども、小中学生が、川崎区全域から参加してきた。そのため、中学生の夜間利用が以前の2倍強に増加している。さらに、事業を強化したい。
 社会教育事業では、識字学級で「情報弱者」の初級学習者向けに、防災や病院等、命を守る生活課題を中心とした多言語付き識字学習が取り組まれ、4年目を迎えた。また、特に貧困問題や外国人市民の生活課題を主題とした人権尊重学級では地域包括ケアのテーマを多角的に取り上げ、青丘社の各部署、関係機関からも多くの参加を得た。
 高齢者の事業では、確実に世代が進み、在日2世や、戦後韓国から日本に来た人たちが増大し、新しいプログラム展開を志向している。会員数は100名を超えており、きめ細やかな取り組みを目指す。

こども事業	乳幼児活動	キッズスペースの運営 子育て支援センター(児童館型)の受託運営 各種事業の取り組み ぴよぴよタイム 絵本の会 おもしろ講座 スマイルハート(障がい児と保護者の集い) オープンハーツ(子育て相談会) キッチンろば(料理講習会) マチエーマ	
	一般来館事業	工作 伝承遊び 集団遊び おやつづくり 各種季節行事	
	わくわくプラザ事業	さくら小学校	登録児童257名(在校児童459名) 56%
		大島小学校	登録児童155名(在校児童304名) 51%
		東大島小学校	登録児童137名(在校児童209名) 66%
	クラブ活動	こどもチャンゴクラブ	毎週金曜 小学生 39名
		こども舞踊クラブ	毎週火曜 3年生以上 小学生7名 青年1名
		ハロハロクラブ	毎週水曜日 小学生24名
		夜間中・高校生世代	利用者 中学生32名 高校生15名
		学習支援・居場所づくり事業	●外国につながる子どもの学習サポート：参加総数66名 ・小学生(水・教文土・桜本)28名 ・中学生(水・土)24名 ・学齢超過者8名 ・高校生6名 ●川崎市学習支援・居場所づくり事業 ・参加生徒 73名 (内 中3生活保護家庭43名、その他30名)
学校連携事業	各学校の民族文化講師などの派遣調整を行ない、協力者を確保し、ワークショップを通じて、多文化共生の学習に協力(毎週1回程度) 他に運動会や文化祭での指導者講師を調整し派遣(年間57校)		
成人部門	講座 学級の開設	人権尊重学級/ふれあい学級/ふれあい教室/識字学級/日本語ボランティア講座/ 受託講座12講座 自主講座 料理講座 社会教育研究集会 継続自主文化サークル「パランセク」への協力援助 4種(ハングル・舞踊・カヤグム・チャンゴ)13講座	
	啓発、資料提供	講演会実施(2回)ふれあい館だよりの発行 講師派遣、資料閲覧、相談助言	
	貸室・貸物品	午前、夜間を中心に、地域の社交ダンスや日本舞踊、学習会や子育てサークルに場所を提供する。	
高齢者事業	相談事業	非識字、無年金の在日高齢者を中心に、相談援助を行う。 介護保険関係、社会サービス行政手続き関連、引越しなどの生活全般	
	交流事業	毎週火曜日の会食会を中心に、在日高齢者のネットワークを結びながら、日本人高齢者との交流や協同の場作りをすすめる。トラチの会 登録100名	
その他	他団体連携事業	地区社会福祉協議会、桜本商店街、おおひん地区街づくり協議会、桜川公園愛護会などと連携し、「春の祭」や秋の商店街祭りに「豊物遊(ブンムルノリ)」で参加、活気あふれる誰もが力いっぱい生きられる共生の街づくりの活動に参画した。 市民団体と連携し、「在日の想いに語る会」「地域史聞き書き事業」など、学習と交流の場づくりを行った。200名以上の外国人市民が毎週集う貝塚カトリック教会とふれあい館、区役所が連携協働し、「外国につながる市民と考える防災フォーラム」を2回開催し、約150名の参加があった。また、区民会議に参画し、「外国につながる市民と共に考えるフォーラム」開催に協力、区内外国人支援団体、外国人市民、区民会議委員20数名が参加し、教育や生活課題について話し合った。	